

宇都宮文化財マップ。

もののふ
— 武士の夢が原 —



国指定史跡 飛山城跡

宇都宮市教育委員会



広琳寺のシダレザクラ ■ B・3

シダレザクラは、鑑賞用として神社仏閣の境内によく見られる落葉高木です。

広琳寺のシダレザクラは、高さ約12メートル、目通り周囲2メートルで、地上から約5メートルの高さで4本の枝に分かれており、傘型の見事な樹形をしています。

樹勢は良好で、毎年4月にたくさんの花を咲かせます。

(昭和48年3月20日 市指定)



木造文殊菩薩坐像【広琳寺】 ■ B・3

文殊菩薩は、通常は普賢菩薩とともに釈迦如来の脇侍であり、知恵と戒律をつかさどるとされてきました。

この文殊菩薩坐像は独尊形で、右手に智剣を、左手に経巻を持っています。

江戸時代に寄木造りによって制作されたものと考えられます。

(昭和47年12月8日 市指定)

※拝観にはお寺の許可が必要です。



木造阿弥陀如来坐像【広琳寺】 ■ B・3

阿弥陀如来は、極楽浄土の仏とされ、日本では、多くの信仰を集めました。

この像は、広琳寺に客仏として保管されているもので、廃寺となったお寺のものであったと伝えられています。

江戸時代に制作されたものですが、制作技法に古い様式が用いられています。

(昭和60年3月20日 市指定)

※拝観にはお寺の許可が必要です。



銅造大日如来坐像【広琳寺】 ■ B・3

大日如来は、太陽神崇拜に基づいて考え出されたもので、宇宙の根本仏とされ密教の中心仏として信仰されています。

この像は、境内の文殊堂屋根上に設けられた龕の中に安置されています。

銅製のため頭髪や衣がやや粗くなっていますが、風格のある整った姿をしており、江戸時代初期に造られたものと考えられます。

(昭和60年3月20日 市指定)



電気機関車EF57 7 C・1

EF57型の7号機として、昭和17年(1942年)に製造され、昭和53年(1978年)に宇都宮運転所で廃車となるまで、36年間走りました。この間、東海道線・上越線・東北線で特急・急行列車などを牽引し、走行距離は約346万キロに及びました。陸上輸送を担った機関車として、駅東公園で保存されています。

※年に1回(秋)公開されています。